

令和元年度(2019年度) 産業衛生技術部会拡大幹事会・総会 資料

令和元年度第1回産業衛生技術部会拡大幹事会

日時: 令和元年5月25日(土) 12:00~13:00

場所: 名古屋国際会議場1号館3階 会議室135(第14会場)

令和元年度産業衛生技術部会総会

日時: 令和元年5月25日(土) 13:20~14:20

場所: 名古屋国際会議場2号館3階 会議室232(第8会場)

議事

1. 平成30年度(2018年度) 産業衛生技術部会事業報告及び決算
2. 産業衛生技術部会奨励賞受賞者(部会総会において授賞式を開催)
3. 令和元年度(2019年度) 産業衛生技術部会事業計画案
4. 各委員会からの報告事項
5. その他

【1】 平成30年度(2018年度) 産業衛生技術部会事業報告

1. 第91回日本産業衛生学会(熊本)における研修会、シンポジウムの開催

(1) 第26回産業衛生技術専門研修会

平成30年5月19日(土) 9:00~11:00 くまもと県民交流会館パレオ 9F 会議室1

テーマ: 地元企業の労働衛生管理の実際

座長: 宮内博幸(産業医科大学)

「地元企業の産業衛生活動」中川剛(株式会社野田市電子)

「黒崎播磨(株)の産業衛生管理について」安部太喜(黒崎播磨株式会社)

(2) 産業衛生技術フォーラム

平成30年5月19日(土) 15:30~17:45 くまもと県民交流会館パレオ 10階パレオホール

テーマ: 我が国におけるオキュペイショナルハイジニストの育成や活用、展開

座長: 原邦夫(産業医科大学)

「世界的な動向とIOHAの最近の活動」橋本晴男(東京工業大学)

「我が国におけるオキュペイショナルハイジニストの育成の現状」飛鳥 滋(日本作業環境測定協会)

「ISO 45001について」斉藤慎吾(中央労働災害防止協会)

2. 第28回日本産業衛生学会全国協議会(東京)における研修会、シンポジウムの開催

(1) 第27回産業衛生技術専門研修会

平成30年9月15日(土) 14:30-15:30 東京工科大学蒲田キャンパス3号館30211

座長: 宮内 博幸(産業医科大学)

「米国のインダストリアルハイジニストの活動」持田伸幸(JXTG エネルギー株式会社)

(2) 産業衛生技術シンポジウム

平成30年9月15日(土) 16:30-18:00 東京工科大学蒲田キャンパス3号館30211

テーマ: わが国の産業衛生技術専門職について - ハイジニストの意義

座長: 橋本晴男(東京工業大学)

「日測協オキュペイショナルハイジニストの立場から」奥田篤史(富士清空工業所)

「既存の技術専門職について」安福慎一(新日鐵住金)

ディスカッション(奥田篤史、安福慎一、持田伸幸、橋本晴男)

(3) ワークショップ

平成30年9月16日(日) 9:00~11:00 東京工科大学蒲田キャンパス3号館31014

テーマ: 検知管・直読計の使い方、リスクアセスメントでの活用法

協力企業: ガステック、光明理化学、篠原電機、新コスモス電機株式会社、理研計器

3. 産業衛生技術部会総会の開催

平成30年5月19日(土) 11:00~11:30 くまもと県民交流会館パレア 9F 会議室 1
産業衛生技術部会奨励賞： 榊原洋子(愛知教育大学), 海福雄一郎(ガステック)

4. 産業衛生技術部会幹事会の開催

- (1)第1回：平成30年5月18日(金) 12:00~13:00 熊本市民会館 2F 第6 会議室
(2)第2回：平成30年9月15日(土) 12:00~13:10 東京工科大学蒲田キャンパス

6. 各委員会の活動

- (1) 企画運営委員会：委員会を2回開催し、部会企画等の運営を検討した。
第一回：平成30年8月26日(日) 15:00~17:00 東京八重洲ホール 414 会議室
第二回：平成31年1月27日(日) 12:00~14:00 東京八重洲ホール 514 会議室
(2) 教育研修委員会：産業衛生技術専門研修会(第26回および第27回)を開催した。
(3) 広報委員会：部会ホームページおよびメーリングリストの維持管理を行った。
(4) 表彰委員会：今年度の産業衛生技術部会奨励賞の受賞者を選定した。

7. 平成30年度産業衛生技術部会決算 (別紙参照)

【2】 今年度産業衛生技術部会奨励賞受賞者

齊藤宏之 (労働安全衛生総合研究所)

<受賞者略歴>

齊藤宏之(さいとう ひろゆき)

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 人間工学研究グループ 上席研究員
学歴・職歴

平成5年 東京理科大学理学部応用化学科 卒業

平成7年 労働省産業医学総合研究所(現:労働安全衛生総合研究所)に入所

平成19年 東北大学大学院医学研究科にて博士(医学)を取得

平成19年 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 主任研究員

平成23年 同 上席研究員(現在に至る)

平成29年~ 神奈川大学工学部非常勤講師(兼務)

学会活動

日本産業衛生学会(代議員, 産業衛生技術部会企画運営委員, 温熱環境研究会世話人)

日本労働衛生工学会(理事)

日本生気象学会

日本人間工学会

委員会等活動

ISO/TC159/SC5(人間工学—物理環境) 国内対策委員会 主査

JIS B7922(電子式 WBGT 指数計) 原案作成委員会 分科会主査

受賞歴

第88回日本産業衛生学会優秀演題賞(平成27年)

「夏季屋外環境における市販 WBGT 計の測定精度に関する検討」

第90回日本産業衛生学会優秀ポスター賞(平成29年)

「ミストファンによる WBGT 値軽減効果の実験的検討」

【3】 令和元年度(2019年度) 産業衛生技術部会事業計画(案)

1. 令和元・2年度 産業衛生技術部会体制

部会長：橋本晴男(東京工業大学)

副部会長：野原誠一郎(中災防), 山野優子(昭和大学)

監事：加藤隆康(豊田労働基準協会 豊田衛生管理者研究会)

(1) 幹事名簿（幹事名に(*)とあるのは理事長推薦, それ以外は各地方会推薦）

地方会	幹事氏名	所属
北海道	池田和博	特定非営利活動(NPO)法人 北海道安全衛生研究所 所長
	相澤和幸	公益財団法人 北海道労働保健管理協会 産業保健部
東北	板井一好	岩手医科大学
	森 洋	秋田環境測定センター
関東	橋本晴男(*)	東京工業大学
	山野優子(*)	昭和大学医学部
	野原誠一郎	中央労働災害防止協会 技術支援部
	中村憲司	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
北陸 甲信越	田畑正司	一般財団法人 石川県予防医学協会
	田村三樹夫	上越環境科学センター
東海	榊原洋子	愛知教育大学 教育学部 保健体育講座
	城 憲秀	中部大学 生命健康科学部 保健看護学科
	土屋真知子(*)	土屋真知子コンサルタントオフィス
	中元健吾(*)	中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所
近畿	長見まき子	関西福祉科学大
	圓藤陽子(*)	圓藤労働衛生コンサルタント事務所
	竹内靖人	中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター
中国	田口豊郁	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科
	森本寛訓	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科
四国	浜井盟子	愛媛大学医学系研究科
	光吉宏司	中央労働災害防止協会中国四国安全衛生サービスセンター四国支所
九州	伊藤昭好	産業医科大学 産業保健学部
	大藪貴子(*)	産業医科大学 作業生態科学研究所
	保利 一	産業医科大学 産業保健学部
	宮内博幸(*)	産業医科大学 産業保健学部

(2) 各委員会の構成

1) 企画運営委員会

氏名	所属
橋本晴男	東京工業大学
野原誠一郎	中央労働災害防止協会
山野優子	昭和大学
加藤隆康	豊田労働基準協会 豊田衛生管理者研究会
大西明宏	労働安全衛生総合研究所
落合孝則	東京工業大学
久保田裕仁	興研
齊藤宏之	労働安全衛生総合研究所
對木博一	合資会社アール
津田洋子	帝京大学
中原浩彦	JXTG エネルギー
中村憲司	労働安全衛生総合研究所
中元健吾	中元産業医・労働衛生コンサルタント事務所
原邦夫	産業医科大学
宮内博幸	産業医科大学

2) 教育研修委員会

宮内博幸(委員長), 中原浩彦

3) 広報委員会

齊藤宏之(委員長), 中原浩彦

4) 表彰委員会

橋本晴男(委員長), 圓藤陽子, 伊藤昭好, 土屋眞知子

5) 個人ばく露測定に関する委員会

橋本晴男(委員長), 山田憲一(副委員長), 熊谷信二, 中原浩彦, 保利 一, 村田 克

※以前に活動していた「企業内安全衛生グループ委員会」, 「許容濃度等の作業現場への活用に関する委員会」は活動停止とする。

(3) 部会事務局の構成

氏名	所属	担当
野原誠一郎	中央労働災害防止協会	事務局長, 総務(主)
山野優子	昭和大学	総務(副)
齊藤宏之	労働安全衛生総合研究所	広報(主), 総務(副)
中原浩彦	JXTG エネルギー	広報(副), 総務(副), 教育研修(副)
中村憲司	労働安全衛生総合研究所	会計(主)
宮内博幸	産業医科大学	教育研修(主)

2. 第92回学会(名古屋, 2019/5/22~25)について

(1) 第一回産業衛生技術部会幹事会

5/25(土)12:00~13:00 第14会場(名古屋国際会議場1号館3階 会議室135)

(2) 産業衛生技術部会総会

5/25(土)13:30~14:20, 第8会場(名古屋国際会議場 2号館3階 会議室232)

(3) 産業衛生技術フォーラム・温熱環境研究会シンポジウム(温熱環境研究会との共催)

5/25(土)14:20~16:30, 第8会場(名古屋国際会議場 2号館3階 会議室232)

テーマ: 「気候変動とこれから求められる熱中症対策」

座長: 齊藤宏之(労働安全衛生総合研究所), 井奈波良一(岐阜大学)

講演1: 小野雅司(国立環境研究所), 「我が国における熱中症の現状と将来予測」

講演2: 森實修平(産業医科大学), 「発汗サーマルマネキンを用いた、日本産業衛生学会の勧告する高温の許容基準の検討」

講演3: 時澤 健(労働安全衛生総合研究所), 「新しいクーリングおよびセンシング技術による熱中症対策」

講演4: 中原浩彦(JXTG エネルギー), 「包括的な熱中症対策プログラムの導入」

(4) パネルディスカッション4(産業衛生技術研修会)

5/23(木)13:30~15:30 第6会場(名古屋国際会議場4号館3階会議室 431+432)

テーマ: 「ISO45001 と産業保健のレベルアップ」

座長: 城 憲秀(中部大学), 土屋眞知子(土屋眞知子コンサルタントオフィス)

講演

齊藤 信吾(中央労働災害防止協会)「ISO45001 の概要と普及状況」

五十石 清(五十石技術士事務所)「企業は ISO45001 をどのように活用するか」

小林 祐一(HOYA(株))「労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)を活用したグローバル管理 ~ ISO45001 とグループ基準の2つの柱を軸に~」

川上 剛(ILO 南アジアディーセントワークチーム)「労働者参加を進める OSHMS -ILO における経験から-」

3. 第29回全国協議会(仙台, 2019/9/12~14)について

- (1) 第二回産業衛生技術部会幹事会
9/14(土) 12:00~13:00
- (2) 産業衛生技術シンポジウム
9/13(金) 15:00~17:00
テーマ:「作業環境測定が変わる!個人サンプラー測定の導入」
企画担当: 橋本晴男
座長: 野原 誠一郎
演者1: 安井省侍郎(厚労省),「個人サンプラー測定検討会報告書の解説【仮題】」
演者2: 橋本晴男(東工大),「作業環境測定への個人サンプラー測定の導入の意義, および産業医・看護職との関連性」
演者3: 傳田郁夫(スリーエムジャパン),「個人サンプラー測定の手法についてメーカーからの説明, パッシブサンプラー(ガス状化学物質, 固体捕集)」
演者4: 田中進太郎(アイデック),「個人サンプラー測定の手法についてメーカーからの説明, アクティブサンプラー(ガス状化学物質, 固体捕集)」
演者5: 小島謙太郎(柴田科学),「個人サンプラー測定の手法についてメーカーからの説明, 粉じん(ろ過捕集式)」
- (3) 教育講演(産業衛生技術専門研修会)
テーマ:「化学物質の安全衛生管理の実際~地元事業所の取組事例報告~」
日時・場所: 未定
企画担当・座長: 河合直樹
演者1: 花上恭二(花上労働衛生コンサルタント事務所)「【事例1】労働衛生コンサルタントの指導による改善事例」
演者2: 阿部悠子(スリーエムジャパン)「【事例2】外資系企業における化学物質管理の状況」
演者3: 中村 剛(東北大学)「【事例3】大学研究室等における化学物質の安全衛生管理について」
- (4) 公募企画(シンポジウム)
9/14(土) 10:00~12:00
テーマ:「生物学的ハザードと作業環境」
企画担当: 宮内博幸
座長: 宮内博幸
演者1(予定): 前川純子(国立感染症研究所)
演者2(予定): 齊藤宏之(労働安全衛生総合研究所)
演者3(予定): 石松維世(産業医科大学)

【4】 各委員会からの報告事項

1. 広報委員会より

- (1) 技術部会の Web ページについて
設置から年数が経過し, メンテナンス性が悪化していたことから, 全面的なリニューアルを実施(5/17)。今後, 旧 Web ページから必要な情報を移動するとともに, 必要な情報の拡充に努める。
- (2) 技術部会メーリングリストについて
転退職等でメールアドレスが変更になっている方が多く, エラーメールが多発している状況。技術部会員に対し, 改めてメールアドレスの登録をお願いする必要がある。
学会前, 全国協議会前ならびに, 必要に応じてイベント情報の連絡に活用する予定。

2. 表彰委員会より

奨励賞の選考内規について, これまで明文化されたものがなかったことから, 「産業衛生技術部会奨励賞選考内規」を案として作成した(別紙参照)。今後はこの内規に従って運用したい。

【5】 その他
(別紙2)

産業衛生技術部会奨励賞選考内規(案)

1. 設立目的

産業衛生技術部会奨励賞(以下、「奨励賞」)は、産業衛生技術の分野における研究または実地活動において、価値ある業績を挙げている会員を表彰することにより、産業衛生技術の振興と奨励を図ることを目的とする。

2. 受賞資格

原則として、産業衛生技術部会会員(以下、「部会員」)であり、50歳以下であること。

3. 推薦方法

部会員 1 名以上の推薦状を付して、下記の書類を別途定める期限までに産業衛生技術部会長(以下「部会長」)に提出する。

- 1) 候補者の氏名, 生年月日, 所属, 所属先住所, 略歴
- 2) 研究・実地活動の概要

4. 選考

- 1) 表彰委員会は部会長を委員長とし、部会員 3 名以上で構成する。
- 2) 表彰委員会は、受賞候補者を幹事会に推薦する。
- 3) 幹事会は委員会の推薦に基づき、受賞者を決定する。

5. 授賞

- 1) 受賞者数は原則として毎年 2 名とする。
- 2) 受賞者には賞状及び副賞を贈呈する。
- 3) 授賞は産業衛生技術部会総会にて行われる。

(附則)

この細則の変更は、部会幹事会の議決による。

(附則)

令和元年 5 月 25 日 幹事会にて承認(予定)